

Quick調査レポート「歯科開業医の実態調査」

Topics

- ✓ 一般歯科開業医では、患者の7割が疾患治療を主たる受診背景として来院している
- ✓ 8割以上が初診患者に歯周ポケットの測定、口腔内写真・レントゲンを実施する
- ✓ 一般歯科開業医の4割弱は患者の自宅に、2割は介護施設に往診・訪問診療をしている
- ✓ 特別な配慮が必要な患者の治療や口腔ケアや指導、電話やメールなどでの対応、他の医療機関との関わりなど、歯科医が果たす役割や提供サービスの多様化が示された

調査背景・目的

- ✓ 歯科は虫歯治療や義歯作成のイメージが強いが、歯や口腔の健康に対する意識向上、在宅医療や医科歯科連携の推進、審美的な治療ニーズなどにより、サービス内容・場所・時間が拡大している。
- ✓ 本調査では、一般歯科開業医を中心に、患者の受診背景や、初診患者への対応、提供サービスについて実態を確認する。

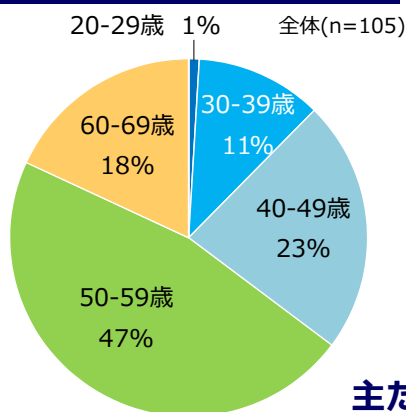
調査概要

調査方法：インターネット調査*準クイックサーベイ 有効回答：105サンプル
調査地域：全国 調査期間：2015年9月24日～9月28日
調査対象：歯科開業医（医院・診療所・クリニック） 調査主体：株式会社アンテリオ Quick Survey室

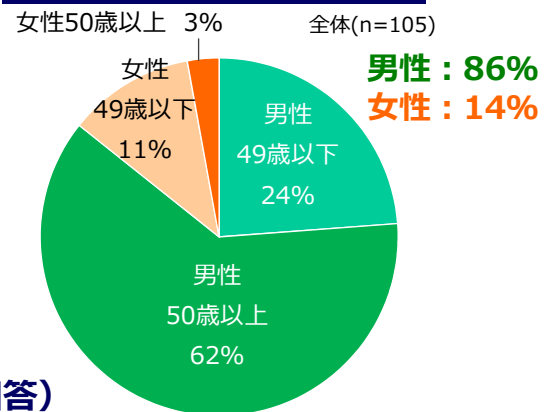
調査結果

歯科開業医全体(n=105)の基本属性および専門領域

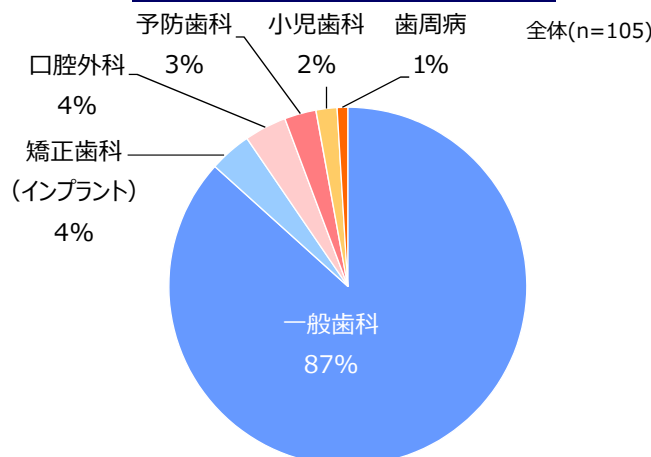
年代別構成比（単一回答）



性年代別構成比（単一回答）

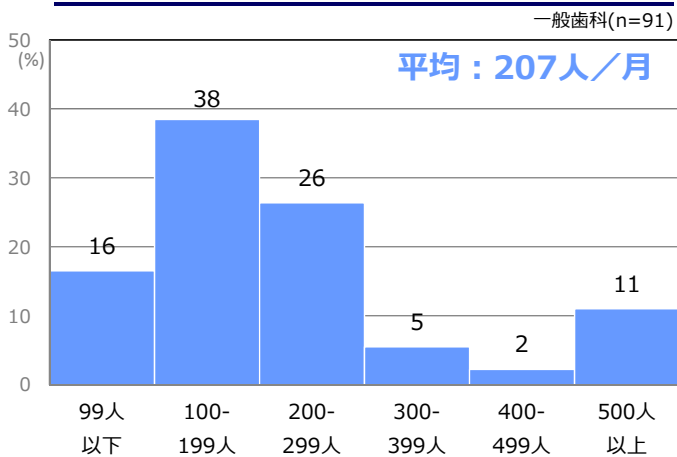


主たる専門領域（単一回答）

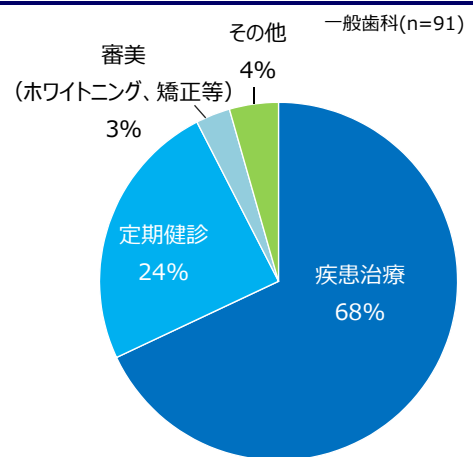


一般歯科を主たる専門領域とする歯科開業医(n=91)の診療実態

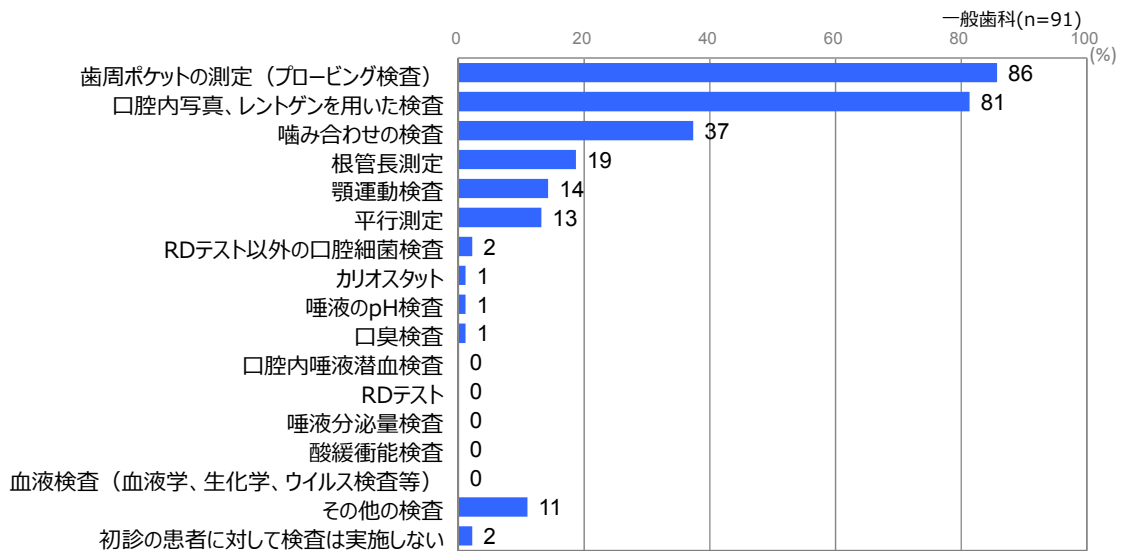
平均的な1ヶ月間の診療患者数



平均的な1ヶ月間の受診背景別患者割合



初診の患者に対して実施する検査（複数回答可）



現在実施している診療や取組み（複数回答可）

